

笑顔こぼれる みんなのミニ情報誌

12月号

ほほえみ

Hohoemi

ぽすと

Post



中国の自動車リサイクル

こんにちは。近藤です。

11月上旬、南京で行われた石川・江蘇省環境セミナーのあと、中国最大の鉄鋼メーカー、上海宝鋼集团公司のグループ会社である上海宝鋼鉄資源有限公司を訪問しました。2004年末に開業した、真新しく清潔な自動車リサイクル工場です。不適切な廃車処理による環境悪化を憂慮した上海市当局が、3年前に廃車処理事業を行える認定工場を4社に限定しました。普通乗用車については同社のみが認定工場となっています。

安全重視のため、機能系のエンジン、トランスミッションなどは中古品としての再利用ができず、必ずスクラップにすることを義務付けられています。スクラップにしたという「破壊認定書」を当局から取得しなければならず、さらに、これを徹底するため、工場に公安局のスタッフが派遣され監視までされるそうです。監視カメラも設置されています。ここまで来ると滑稽に感じてしまいますね。



中国では本年8月まで、15年経過した乗用車は法令により強制的に廃車処理することとなっていました。環境に与える影響、車両の安全

性の問題だと思われま。今は当局が基準を設けており、それをクリアすれば15年を超えても問題ないようです。

ただし、いずれにしても、廃車の集まりは悪いようです。それは、中古車として十分に機能しそうな車両でも買取代金を市当局が10,000円程度に決めているため、こうした車両は上海市の規制から離れたところへ行き、もっと高い価格で売られるからだそうです。それが違法とはいえ、使える状態のものはそのまま使った方がいいのではないかという思いもめぐりません。

このため、この工場では年間2万台の処理能力を持つにもかかわらず、実際の処理台数は年2千台程度だそうです。採算的にはずいぶんと厳しそうです。これだけ立派な設備がありながら、この処理台数では本当にもったいない。

ただ、自動車保有台数が急増している中国のこと、数年後には今の数倍の台数を処理しているのは間違いないでしょう。それまでに私たちが持つリサイクルの技術を伝え、より効率的で生産性の高い自動車リサイクル工場になるよう協力できればと考えています。

今年もはや残すところ僅かとなりました。皆様には、充実した1年を過ごされたことと存じます。いつも変わらぬご厚情を賜ったお客様方、本当に感謝しております。ありがとうございました。来年も会宝産業をよろしく願いたします。



狭いトイレを何とかしたい

全面的なリフォームが可能なら、廊下を削ったり、洗面所と一体型にして壁をなくすなどでトイレの床面積を広げられるでしょう。

今の広さそのままを使い勝手を良くするなら、壁にくぼみをつくって棚をしつらえ、トイレ内の小物を収納することで空きスペースを増やせます。また、ドアを引き戸にするのもおすすめです。さらに、トイレの壁を明るい色にすると開放感が出て、視覚的に広く感じるでしょう。

タンクレスのトイレに変える方法もあります。タンクがなくなる分、奥

行きが10センチ以上広がるほか、トイレ本体がすっきりした形になるので掃除もしやすくなります。最近では薄型トイレもあるので、詳しくは業者にご相談ください。



07年10月の車両処理実績			
フロンガス	破壊	Kg	229
	再利用	Kg	
エアバッグ	個		375
廃オイル	リットル		6,800
LLC	リットル		2,360
入庫台数	一般	台	1,191
	投棄	台	
処理台数	台		1,151
廃車ガラ量	ト		607

今月のクレーム

コンピュータ



こんにちはフロント大森です。
 車にはたくさんのコンピュータが使われているのをご存知ですか？ このコンピュータをECU(Electronic Control Unit)と呼びます。車を快適に走らせるためのエンジン制御 ECU が代表的なものです。そのほかエアコン、メーター、エアバック、ABS、サスペンション等、数多くの ECU が使用されています。
 先月はこのコンピュータでお客様にご迷惑をお掛けしてしまいました。コンピュータのクレームはほとんどが作動不良です。今回もお届けしたコンピュータが全く反応しないというものでした。コンピュータのテストは現車から外してしまうと、なかなか確認できるもの

ではありません。現車時にきちんと動作確認は行っていますが、保管期間や保管状態によってダメになってしまうことがあるのです。このため、一定期間を過ぎたものは販売しない、保管状態は定期的にチェックするなどの措置を取っています。
 今年も残りわずかとなりました。一件でもクレームを減らし確実な商品がお客様のお手元に届くよう、一人ひとりがお客様とのコミュニケーションを大切に、全員が力を合わせ成長してまいります。今年一年間ごひいきいただきまして誠にありがとうございました。来年も変わらぬご愛顧を賜りますよう宜しくお願いいたします。

会宝産業株式会社 金沢市東蚊爪町1-25

部品課 TEL 076-237-5138
 FAX 076-237-6090
 E-mail kokunai@kaiho.co.jp
 車両課 TEL 076-237-5133
 FAX 076-237-1950
 E-mail info@kaiho.co.jp

営業時間/8:30-18:30 日・祝日休業

<http://www.kaiho.co.jp>



いきいき趣味らいふ

寒い時期はとくに気持ち良いお風呂。今回は、自宅にある材料をお風呂に入れて、ちょっと贅沢で美容と健康に良い入浴法をご紹介します。それぞれの量はご自分で加減してくださいね。(自己責任でお試してください)

【酒風呂】お湯に日本酒を約4合入れます。酒風呂に入ると体の芯から温まり、お肌もスベスベ。風邪の予防にもなりますよ。アルコールに弱い人向けに入浴専用のお酒も販売されています。

【ワイン風呂】お湯にボトル1本ほどのワイン入れます。ワインに含まれるビタミンが血行を良くし、体を温めてくれま

お風呂大好き！



す。赤ワインならお湯がバラ色に染まって見た目もきれいです。

【牛乳風呂】クレオパトラも愛用したと言われる牛乳風呂は、お湯に牛乳を1リットル入れます。保温、保湿効果があり、肌をなめらかにして肌老化を防止します。

【ハチミツ風呂】大さじ1~2杯のハチミツをお湯に溶かします。お湯がなめらかになって美肌効果は抜群です。

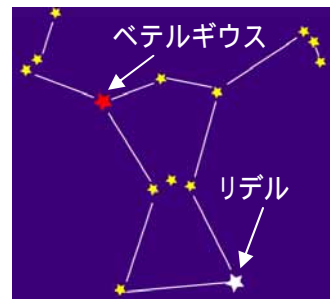
【バラ風呂】バラの花を散らしたバラ風呂はとても贅沢ですね。優雅な甘い香りにはヒーリング効果があります。入浴後はお肌もふんわりですよ！

季節の星ぼし

サソリが怖い星座の王様 ~オリオン座~

冬の間、サソリが怖い星座の王様、オリオン座が西の地平線から昇ってきます。そして、サソリ座が東から現れる前に西の地平線に隠れます。何だかずっとサソリから逃げ続けているようにも見えますね。

冬の代表的な星座である「オリオン座」は、2つの1等星と5つの2等星からなる星座です。これほど明るい星のそろった星座は他になく、「星座の王」とも呼ばれています。「オリオン」とは、ギリシャ神話に出てくる海神ポセイドンの息子のこと。水の上を歩く力を与えられた美しい男でしたが、自分の狩りの腕前を自慢したせいで大地の女神の怒りを買って、サソリによって毒殺されてしまいました。このためでしょうか、オリオン座はサソリ座が西に沈んだ後、東の地平線から昇ってきます。そして、サソリ座が東から現れる前に西の地平線に隠れます。何だかずっとサソリから逃げ続けているようにも見えますね。



太い棒を持った大男の狩人のイメージ



未投函のハガキを無駄にしない！

節約王手箱

書き損じの年賀ハガキを郵便局に持っていくと、1枚につき5円の手数料で50円ハガキか50円分の切手と交換してもらえます。寄付として受付けているところも多く、たとえばユネスコに送ると1枚で45円の募金になります。これは、インドでは4回分の給食になるそうです。また、年賀状を用意しておいたのに身内に不幸があったときは、既に印字したもので12月28日まで無料で交換してもらえます。郵便局の窓口で、請求書に住所・氏名・亡くなられた方との続柄などを記入します。ただし、28日を過ぎたり官製葉書の場合は、やはり1枚につき5円の手数料が必要になります。

(社)日本ユネスコ協会連盟
「書き損じハガキ」係
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1
朝日生命恵比寿ビル12階

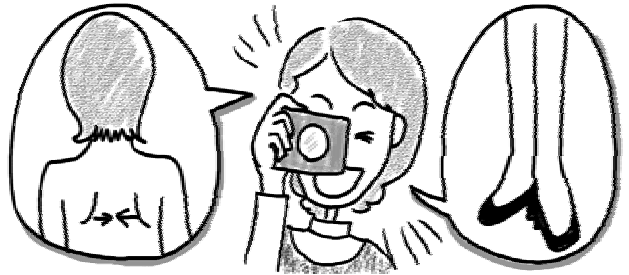
写真写りをよくしよう！

年末年始は写真を撮る機会も増えますね。ちょっとしたコツをつかんで、美しく写りましょう。

立って写真に写るときは、正面を向くより、カメラに向かって少し斜めに立つほうがスタイル良く見えます。片足を少し後ろにずらして後ろ足に体重をかけ、上体は左右の肩胛骨を合わせるように意識すると背筋が伸び、胸も上がってきれいな立ち姿勢になります。パンツスタイルのときは、前足のかかとを上げてひざを少し曲げると足のラインがきれいになります。また、片手をポケットに入れると肘が広がって上半身が大きく見えるので、その分下半身が細く見えます。

イスなどに座っている場合は足元がポイントです。かかとをひざよりも前に出し、出した足は左右のどちらかに流してひざをそろえましょう。

複数が横並びで写るときは、中央の人に向かって斜めに立ち、上体だけを正面に向けます。中央に近いほうの足を後ろに引くと仲のよい雰囲気になりますよ。



こんなとき

どーする!?

年行事から

冠婚葬祭まで

～ お正月の準備はいつからするの? ～

その昔、お正月の準備は12月13日の「すす払い」に始まりました。「すす払い」とは大掃除のことですが単なる大掃除ではなく、新しい年の五穀豊穡を約束してくれる「歳神さま」をまつる準備をする宗教的な行事でした。竹ざおの先にわらをくくりつけた「すす梵天(ぼんてん)」ですすを払い、使用後のすす梵天はそのまま戸外に飾り、お正月後に正月飾りと一緒に焼きます。すす払いのあとは御神酒や団子を供え、餅や雑炊を食べたり、「すす湯」というお風呂に入って体も清めたそうです。「すす払い」を12月13日に行なうようになったのは、その日がもともと「事始め」といって、お正月の準備を始める日であったことに由来します。この習慣は江戸時代に一般家庭に定着して、大正時

代まで続きました。

年末には餅をついて神仏へのお供えに鏡餅をつくります。また、餅を食べることで神の霊力を体内に迎えるとして、お正月には家族やゆかりの人に餅を配りました。餅をつく日は末広がりの「八」の日を最良とし、苦に通ずる「九」のつく日は避けて30日まで

には済ませたそうです。さらに、歳神さまをお迎えする目印の「門松」や、家の中を神聖な場所とする「しめ飾り」などは年内に飾りました。

現在では、13日に大掃除をしてもお正月までにまた汚れてしまうので、都合の良い日に行なうようになりました。また、門松やしめ飾りを31日に飾るのは「一夜飾り」といって嫌うことが多く、今でも30日までに飾り付けるところがあるようです。

